福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出金							事業コード	030103420265		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり							施策コード	611	
事業担当	所属	080200 総務部財政課					所属長	伊達 大史			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 府負担事業、特別会計への繰出金 ）										
関連事業	後期高齢者医療事業特別会計各事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 後期高齢者医療制度とは、75歳以上の人及び65歳以上75歳未満の一定の障害がある人で京都府後期高齢者医療広域連合の認定を受けた人を対象とする医療保険制度。 後期高齢者医療事業特別会計は後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るために設置するものであり、保険料等の特定の収入を基に事業運営を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 後期高齢者医療事業において、保険料等の収入のみでは安定した運営ができないのが実情である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療事業特別会計に対して繰出を行うことで、高齢者の安心した生活や健康づくりの取組に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人件費、その他後期高齢者医療事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 特別会計への繰出金 ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
繰出金	1,368,328	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,435,808	1,454,866	1,485,205	0
	② 補正予算		0	1,665	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,435,808	1,456,531	1,485,205	
予算財源内訳	① 一般財源		1,186,246	1,198,567	1,222,202	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		238,335	246,829	251,632	
	④ 地方債		0	0	700	
	⑤ その他特財		11,227	11,135	10,671	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		1,435,808	1,456,531		
	③ 執行額		1,365,981	1,368,328		
	④ 執行率		95.1%	93.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.03 / 0.00	0.01 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		240	88		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,366,221	1,368,416		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	後期高齢基盤安定負担金（保険料軽減分）	民生費府負担金	236,263	20	
	後期高齢者医療広域連合負担金	雑入	11,210	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価のため入力なし】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	百万円	1282.3	1293.3	1366	1368.3		
	繰出金決算額	当初見込		1351.6	1381.9	1435.8	1454.8	1485.2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	繰出基準等に基づき後期高齢者医療事業特別会計に一般会計から繰出を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	繰出を行うことにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。今後も適正に繰出を実施する必要がある。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護保険事業運営						事業コード	010101420503		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広			
会計情報	款	01総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	15 介護保険	決算附属資料	247 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの適正な運営を行うことで、持続的な「高齢者が最後まで自分らしく暮らせる環境」を整えることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 介護保険制度に係る事務のうち、被保険者管理(資格の得喪等)、給付管理(介護サービス利用等)、制度の広報・啓発、サービス事業者の指定・指導等を行うための事務的経費。

対象者	福知山市が保険者の第1号被保険者及び第2号被保険者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	8.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)両備システムズ、京都電子計算(株)、(株)ケーケーシー情報システム、北日本コンピューターサービス(株)、(株)メディブレーン					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
給料・報酬	78,875	職員人件費・会計年度任用職員人件費	使用料及び賃借料	87	モノクロデジタル複合機賃貸借
職員手当等	43,414	職員人件費・会計年度任用職員人件費	備品購入費	320	庁用備品
共済費	21,942	職員人件費・会計年度任用職員人件費	負担金補助及び交付金	635	介護障害ネットワークに係るファイアウォール
需用費	1,393	消耗品費、印刷製本費	旅費	12	協議
役務費	6,161	通信運搬費、手数料			
委託料	11,077	システム保守、ケアプラン点検業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	268,079	175,752	184,908	0
	② 補正予算	2,757	△ 6,542	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	270,836	169,210	184,908	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	27,822	25,396	7,805	
	③ 府支出金	11,378	9,582	4,466	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	228,879	140,774	172,637	
決算情報	① 流充用額	△ 149	△ 104		
	② 配当予算	270,687	169,106		
	③ 執行額	259,960	163,916		
	④ 執行率	96.0%	96.9%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	2.35 / 0.60	2.78 / 1.00	/	/
	② 概算人件費	20,480	25,040		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		280,440	188,956		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	その他一般会計繰入金	その他一般会計繰入金	98,589	245	
	介護保険システム改修費補助金	介護保険事業費国庫補助金	7,102	244	
	現年度分	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)	12,253	244	
	現年度分	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)	6,126	245	
	介護給付費準備基金	介護給付費準備基金繰入金	13,913	245	
	雑入ほか		25,933		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	13	13	14	14		
	事業所運営指導実施件数	当初見込		13	15	14	14	14	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護保険施設等を対象に、介護サービスの質、運営体制、介護報酬請求の実施状況等の確認のため、実地により運営指導を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	7	35	25		
	ケアプラン点検実施件数	当初見込		27	27	18	25	25	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	居宅介護支援事業所を対象に介護支援専門員が作成したケアプラン（居宅介護サービス計画・介護予防サービス計画）内容について自立支援に資する適切なケアプランとなっているかの検証確認を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては第10次福知山市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適切な事業運営を行っている。【定性的評価】 今後、高齢者の増加によりさらに介護サービス費の増加が見込まれる。高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適切に供給できる体制づくりが必要である。
現状の課題に対する改善策	適正な介護保険制度の運営を引き続き行っていくために、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	賦課徴収業務					事業コード	010201420506		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり			施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	01総務費	項	02徴収費	目	01賦課徴収費	会計	15 介護保険	決算附属資料	248	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険料（第１号被保険者負担分：23%）の適切な賦課徴収を行い、介護保険制度を安定的に運営する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 前年所得に基づく保険料算定を行っていることから、原則はしっかりと保険料を徴収すべきであるが、保険料を滞納している者に対し、滞納している理由を明確にした上で、適切な債権管理を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。適切な保険料の徴収・債権管理を実施することによって、持続的な「高齢者が最後まで自分らしく暮らせる環境」を維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・保険料徴収に係る年金特別徴収や普通徴収（口座引き落とし、金融機関・コンビニ現金払い）の方法による徴収管理を行う。 ・普通徴収に関するコンビニ収納対応納付書作成及び封入封緘業務を委託。 ・滞納者に対し、督促・臨宅・催促等を行い、関係機関や関係部署と連携の上で適切な債権管理を行う。

対象者	65歳以上の第1号被保険者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	1.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社、地銀ネットワークサービス株式会社、提携コンビニエンスストア、株式会社ケーケーシー情報システム					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	3,355	保険料決定通知書、納付書等の発送			
需用費	242	共通様式納付書及び督促状用シーリングはがきの印刷、セキュリティUSBメモリのライセンス更新等			
委託料	5,295	納入通知書及びコンビニ対応納付書印字封入業務等			
給料、報酬	7,528	職員人件費			
共済費、職員手当等	6,139	共済費、社会保険料等			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	21,100	27,183	25,745	0
	② 補正予算	3,195	△ 2,485	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	24,295	24,698	25,745	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	24,295	27,183	25,745	
決算情報	① 流充用額	149	0		
	② 配当予算	24,444	24,698		
	③ 執行額	23,089	22,559		
	④ 執行率	94.5%	91.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,600	3,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		26,689	26,159		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	その他一般会計繰入金	その他一般会計繰入金	22,391	245	
	督促手数料	督促手数料	168	243	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	99.3	99.4	99.4	99.5		
	保険料収納率（現年・滞納）	目標値		99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	75	37	69	25		
	新規口座振替登録者数	当初見込		60	60	60	60	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・手軽に支払いができるよう、従来からの金融機関での現金払いに加え、口座引き落とし、コンビニ現金払い、スマートフォン決済等の多様な手段を確保する。 ・介護保険手続きの際に、保険料滞納者と接触し、支払いの催促を行う。 ・保険料滞納者に対し、督促・臨宅・催促等を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	日々、多くの死亡・転入出等があるなかで、毎月、保険料の見直しを行うことができている。また、滞納者と接触した際には、滞納者の生活状況等も聞きながら、今後の支払計画を一緒に作成する等によって債権管理を行っている。一人ひとり、滞納している理由が違うことを念頭に、引き続き滞納者に寄り添った徴収・債権管理を行う必要がある。
現状の課題に対する改善策	滞納額の減少をめざし、引き続き、介護保険法や福知山市介護保険条例等に基づく債権管理を行い、税機構や債権管理担当部署と連携を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	居宅介護予防サービス費					事業コード	020101420519		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料	249	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者に対して提供した介護予防訪問介護や介護予防通所介護等の居宅介護予防サービス費に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	25.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
負担金補助及び交付金	126,754	介護給付費負担金(各サービス事業費に要した費用)			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算		128,590	131,187	133,975	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)			128,590	131,187	133,975	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		35,034	35,368	35,436	
	③ 府支出金		16,074	16,398	16,747	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		77,482	79,421	81,792	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		128,590	131,187		
	③ 執行額		123,744	126,754		
	④ 執行率		96.2%	96.6%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)		0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		320	320		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			124,064	127,074		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	第1号被保険者介護保険料	実績金額	26,763	決算附属資料	243 頁
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		25,949		243
		現年度分		調整交付金		8,395		243
		介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金		34,565		244
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		16,082		244
		その他一般会計繰入金ほか				15,000		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9,026	9,209	9,346	9,556		
	居宅介護予防サービス給付利用者数	当初見込		8,016	8,388	9,624	9,840	10,056	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	要支援者に対し、自宅で自立した生活が送れるよう、居宅介護予防サービスに係る費用を支給する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防福祉用具購入費						事業コード	020101420520		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広			
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料	249 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の福祉用具購入に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
負担金補助及び交付金	3,235	介護給付費負担金(各サービス事業費に要した費用)			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,782	3,782	4,133	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	3,782	3,782	4,133	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,031	1,019	1,094	
	③ 府支出金	473	473	517	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2,278	2,290	2,522	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	3,782	3,782		
	③ 執行額	3,339	3,235		
	④ 執行率	88.3%	85.5%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	240	240		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,579	3,475		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
	現年度分		第1号被保険者介護保険料		684		243	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		662		243	
	現年度分		調整交付金		214		243	
	介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金		882		244	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		411		244	
	その他一般会計繰入金ほか				382			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	108	108	120	104		
	介護予防福祉用具購入費支給者数	当初見込		120	120	132	132	144	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	要介護者に対し、特定介護予防福祉用具（腰掛便座・簡易浴槽等）購入に係る費用を支給する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防住宅改修費						事業コード	020101420521		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広				
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料	249 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の住宅改修に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。）

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	1.7	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	8,467	介護給付費負担金（各サービス事業費に要した費用）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	7,250	7,250	7,250	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	7,250	7,250	7,250	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,975	1,954	1,918	
	③ 府支出金	906	906	906	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	4,369	4,390	4,426	
決算情報	① 流充用額	957	1,217		
	② 配当予算	8,207	8,467		
	③ 執行額	8,207	8,467		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	160	160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,367	8,627		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	現年度分	種類	第1号被保険者介護保険料	実績金額	1,789	決算附属資料	243	頁
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		1,733		243	
		現年度分		調整交付金		561		243	
		介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金		2,310		244	
		介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		1,074		244	
		その他一般会計繰入金ほか				1,000			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	120	120	108	99		
	介護予防住宅改修費支給者数	当初見込		132	132	132	84	84	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	要支援者に対し、要支援者宅の手摺の取り付け、段差の解消、滑りの防止等、介護保険における住宅改修を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防支援費						事業コード	020101420522	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	02保険給付費	項	01保険給付費	目	01介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算附属資料	249・250	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担金事業 ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の介護予防サービス計画(ケアプラン)作成に係る経費(請求)に対する給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)

対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	7.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
負担金補助及び交付金	38,705	介護給付費負担金(各サービス事業費に要した費用)			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算		39,072	39,842	40,396	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)			39,072	39,842	40,396	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		10,644	10,741	10,685	
	③ 府支出金		4,884	4,980	5,050	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		23,544	24,121	24,661	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		39,072	39,842		
	③ 執行額		37,792	38,705		
	④ 執行率		96.7%	97.1%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)		0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		160	160		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			37,952	38,865		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
	現年度分		第1号被保険者介護保険料		8,173		243	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		7,923		243	
	現年度分		調整交付金		2,563		243	
	介護給付費交付金現年度分		介護給付費交付金		10,555		244	
	介護給付費負担金現年度分		介護給付費負担金		4,910		244	
	その他一般会計繰入金ほか				4,581			

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	7,997	8,084	8,238	8,384		
	介護予防支援給付利用者数	当初見込		6,672	6,792	8,472	8,628	8,748	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	ケアマネジャーが、要支援者が介護予防サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、要支援者の希望等を勘案し、ケアプラン（介護予防サービス計画）を作成するとともに、サービス事業者との連絡調整を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防・生活支援サービス事業						事業コード	030101420529	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実		
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広		
会計情報	款	03地域支援事業費	項	01介護予防・生活支援サービス事業費	目	01介護予防・生活支援サービス事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料 250 頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 高齢に伴いフレイルが悪化していくと、日常生活においてサポートが必要となる要支援、その後要介護へと状態が進行がする背景がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 要支援になったことをきっかけとして、状態の悪化や、それに伴う閉じこもりにより、活動的で生きがいのある生活が送りにくくなる現状がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高齢に伴う心身機能の低下により要支援状態になっても、住み慣れた地域で自助・共助・公助の仕組みを活用し、残存機能の維持改善や要介護状態の悪化防止、もしくは軽減をめざし、いつまでも自立した生活を送れるようにする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援等の認定者に、従来相当サービス、サービスA(緩和型)、サービスB（住民主体）、サービスC（短期集中）を提供する。 ※サービスA：雇用労働者（訪問看護員）が生活援助として、調理、掃除等など日常生活に対する援助を行う。 サービスB：住民団体等が主体となって提供するサービスで、地域の住民ボランティアが訪問し、ゴミ出し、掃除、草ひき、雪かきなどを行う。 サービスC：心身機能・生活機能等の低下が見られるが、短期的に集中的に支援を行うことで改善が見込まれる人を対象に、期間を限定して心身機能・生活機能改善・向上をめざすサービス。

対象者	要支援認定者等	対象者数	1,184	単位あたりコスト	141.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社石坪、市立福知山市民病院、市内各医療機関				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	33	短期集中介入サービスC主治医意見照会に係る手数料、郵送料			
委託料	12,238	介護予防ケアマネジメント業務委託、サービスC（通所型）業務委託、サービスC参加意見照会委託			
使用料及び賃借料	68	公用車賃借料			
負担金補助及び交付金	153,966	介護予防・日常生活支援総合事業費、高額介護サービス費			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	211,510	203,424	194,151	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	211,510	203,424	194,151	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	53,782	51,673	60,626	
	③ 府支出金	26,438	25,428	24,269	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	131,290	126,323	109,256	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	211,510	203,424		
	③ 執行額	173,461	166,304		
	④ 執行率	82.0%	81.8%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.16 / 0.00	0.13 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,280	1,040		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		174,741	167,344		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
現年度分	第1号被保険者介護保険料	17,608	243	
現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）	36,680	243	
現年度分	総合事業調整交付金	13,329	244	
地域支援事業支援交付金	介護給付費交付金	60,381	244	
現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）	22,920	245	
介護給付費準備基金	介護給付費準備基金繰入金	15,386	245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	4,435	4,247	3,341	3,663		
	介護認定者数（年間認定者数）	目標値		5,233	5,319	5,087	5,120	5,178	
		達成度	%	85%	80%	66%	72%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	55	85	63	42		
	短期集中介入サービスC利用者数	当初見込		130	130	130	130	130	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	要支援者等の認定者や地域住民へ広報等によるサービスの周知								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。（定性的評価） 要支援になったことをきっかけとして状態が悪化し、活動的で生きがいのある生活が送りにくくなるため、今後も継続して介護保険事業を進める必要がある。
現状の課題に対する改善策	・更に高齢者人口が増え、経年的に対象者数が変動していくことを念頭に、他の介護予防・健康づくり事業と合わせた取組の検討を行う等、介護認定率の上昇抑制につなげる。 ・サービスCについては、短期間集中的な支援の効果がどれぐらい維持できているか、利用終了後の確認を行いながら、更なる周知にも努めていくことで、積極的なサービス利用を勧めていく。また、課題となっているサービスCの卒業後の維持・継続について、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業のなかで通いの場の創出等、地域づくりを併せて進めていく必要がある。 ・訪問型サービスBについては、他の地域にも横展開することで、更なる普及・啓発を進めていく。 ・第10次高齢者保健福祉計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防普及啓発事業						事業コード	030101420531		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広				
会計情報	款	03地域支援事業費	項	01介護予防・生活支援サービス事業費	目	01介護予防・生活支援サービス事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料	250・251 頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	地域福祉計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	地域介護予防活動支援事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 一般介護予防事業の1つであり、要支援および要介護1といった軽度なレベルの介護認定者が増加している背景がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護予防教室を通じて、参加者の居場所作りや生きがい作りの場となり、将来的には、高齢者が主体的に取組み、支えあう地域づくりをめざすとともに、体操を生活習慣の中に取り入れてもらえるような仕組みづくりが難しい現状にあること。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 65歳以上の高齢者を対象に、介護予防の取組を推進することによって、要介護状態になることをできる限り予防し、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できるまちづくりの推進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・旧市内、三和町、夜久野町、大江町に会場を設け、市が介護予防（本市オリジナルの貯筋体操）教室を開催。市民参加者は市内の会場を自由に参加できるスタイルをとっている。 ・自宅等から介護予防教室に参加できるよう、市が週1回オンライン配信を行っている。 ・地域の依頼に応じて専門職を派遣し、介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔、認知症予防に係る介護予防教室を開催している。

対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☑ 直接実施	☐ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☑ その他	（ 負担金交付 ）
委託先・実施主体等	市立福知山市民病院					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報酬	8,884	会計年度任用職員人件費	使用料及び賃借料	226	公用車賃借料
職員手当等	3,076	会計年度任用職員人件費	負担金補助及び交付金	680	理学療法士の派遣費用負担金
共済費	1,385	会計年度任用職員人件費			
報償費	310	講師謝礼			
需用費	125	消耗品、燃料費			
役務費	31	郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	10,695	17,429	18,424	0
	② 補正予算	782	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	11,477	17,429	18,424	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,467	3,485	4,503	
	③ 府支出金	918	2,179	2,134	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	9,092	11,765	11,787	
決算情報	① 流充用額	139	3		
	② 配当予算	11,616	17,432		
	③ 執行額	10,773	14,716		
	④ 執行率	92.7%	84.4%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.16 / 0.00	0.15 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,280	1,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		12,053	15,916		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		現年度分		第1号被保険者介護保険料		2,460		243	
		現年度分		地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）		1,588		243	
		地域支援事業支援交付金		介護給付費交付金		2,660		244	
		現年度分		地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）		996		244	
		介護給付費等繰入金		介護給付費繰入金		739		245	
		介護給付費準備基金		介護給付費準備基金繰入金		6,273		245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	4,435	4,247	3,341	3,663		
	介護認定者数（年間認定者数）	目標値		5,233	5,319	5,087	5,120	5,178	
		達成度	%	85%	80%	66%	72%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	377	488	483	505		
	集約型事業　実参加者数	当初見込		440	440	440	440	440	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護予防教室を広報ふくちやまやHPなどで周知する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	0	30	26	28		
	専門職と連携した集約型事業の実施回数	目標値		27	27	27	27	27	
		達成度	%	0%	111%	96%	104%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	時間	1	82	112	114		
	介護支援サポーター活動時間	当初見込		500	500	500	500	500	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護支援サポーターの制度説明会、研修会等において、介護予防教室についての情報共有を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・本市オリジナルの貯筋体操は、高齢者の日常生活の困りごとに着目した内容であり、介護予防に繋がることから、教室への参加のみならず、自宅で継続している参加者も多い。 ・運動、栄養、口腔の介護予防教室では、フレイル予防や認知症予防につながっている。 ・集約型事業において、参加者の固定化といった課題に対し、官民連携による介護予防教室の開催や会場変更等を行うなどの工夫をしながら実施した。引き続き、地域介護予防活動支援事業等と包括的に取組を進め、より多くの高齢者に参加いただける仕組みづくりの推進が必要である。 ・高齢者が主体的に体操に取り組んだり、生活習慣に取り入れてもらえるような仕組みづくりが必要である。
現状の課題に対する改善策	・第10次高齢者保健福祉計画に基づき、事業進捗状況を分析しながら継続して実施する。 ・高齢者が気軽に体操に取り組み、また継続してもらえるよう、体操をしていない層を含め、幅広く体操の案内や周知を継続する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	いきいき・おでかけ応援事業						事業コード	030103202301		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	110 頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市いきいき・おでかけ応援事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 コロナ禍において外出を控える高齢者が増え、地域の社会活動の低迷、フレイル（虚弱）予備軍の高齢者が増えていると予測される。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 当初の事業目的は地域活動への参加を促進するものだったが、実証期間での利用者アンケートにおいて、チケットを利用した外出先は医療機関がほとんどであった。また、切符ほどの大きさの紙チケットでの交付のため、交付、実績確認等事務作業の手間が非常に大きい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） コロナ禍において地域の社会活動の低迷、フレイル（虚弱）予備軍の高齢者が増えていると予測される中、市内の交通機関で利用可能な共通乗車券（「おでかけ応援チケット」）を配付し、地域活動への参加や外出頻度の増加等を促すことができるのかを検証することにより、「高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり」につながる高齢者外出支援について検討を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 運転免許証を持たない75歳以上の高齢者に、バス・タクシー等に利用できるおでかけ応援チケットを交付する。 令和5年度　一人当たり4,000円　令和6年度・令和7年度6,000円 運転免許証返納者（免許証返納後3年以内）　一人当たり12,000円

対象者	75歳以上の運転免許を持たない高齢者	対象者数	5,500	単位あたりコスト	3.4
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	1,557	電話代、チケット郵送料			
委託料	312	チケット印刷委託			
扶助費	13,539	おでかけ応援チケット利用分			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	17,312	15,608	13,362	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	17,312	15,608	13,362	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	13,362	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	17,312	15,608	0	
決算情報	① 流充用額	△ 68	△ 159		
	② 配当予算	17,244	15,449		
	③ 執行額	14,936	15,408		
	④ 執行率	86.6%	99.7%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.90	0.09 / 0.95	/	/
	② 概算人件費	2,920	3,380		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		17,856	18,788		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	いきいき・おでかけ応援事業基金繰入（地域福祉基金）	基金繰入金	12,356	35	
	いきいき・おでかけ応援事業	民生費受託事業収入	2,679	48	
	いきいき・おでかけ応援事業返還金	雑入	2	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	71.8	74.6	75.2		
	利用率	目標値		―	50	60	70	―	
		達成度	%	―	144%	124%	107%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	1,899	2,243	2,351		
	チケット発行人数	当初見込		―	2,000	2,100	2,200	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	利用促進のため、HPや広報ふくちやまに掲載する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	当初コロナ禍による外出控え解消のため、令和5年度より事業を開始し、3年間の実証事業を経て令和8年度に事業化した。対象要件が75歳以上で免許証を持たないことであることから、多くの高齢者に利用いただけている。（令和7年度チケット発行人数　2,351人） 現状は、紙チケットの配布であり、チケット印刷、発送、請求処理等の事務に係る手間が大きく、事業者にとっても請求の手間は大きいことが課題である。
現状の課題に対する改善策	10年後、20年後の未来を見据え、移動手段を持たない高齢者をはじめ、事業者、市にとって、利用しやすい方法を検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	敬老事業							事業コード	030103420208		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり							施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	111・112	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市敬老事業補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 主催者、参加者の高齢化や社会情勢の変化に伴い、敬老会の開催が難しい地域や自治会が出てきており、今後もそういった地域が増えていくと予測される。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 高齢化や社会情勢の変化に伴い敬老会主催者の高齢化や参加者の減少などが見られるようになり、開催が難しい地域や自治会が出てきている。 市民の敬老意識の高揚を図り、敬老会の趣旨を今後も各地域で維持・継続していただく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛するとともに、長寿を祝うために実施される地域の敬老事業を支援し、また、80歳（傘寿）、88歳（米寿）及び99歳（白寿）を迎える長寿の方と最高齢者に対し長寿御祝品の贈呈を行い、市民の敬老意識の高揚を図る。敬老意識の高揚により、高齢者が暮らしやすい地域となることをめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・敬老精神の涵養と高齢者福祉充実を図るために実施される敬老事業の主催者に運営費の一部を補助する。 ・市内最高齢者・99歳（白寿）、88歳（米寿）及び80歳（傘寿）の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。 ・99歳（白寿）は祝状等も併せて贈呈する。100歳には書簡を贈呈。

対象者	70歳以上または75歳以上の高齢者	対象者数	19,200	単位あたりコスト	1.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	各敬老事業主催者					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,069	最高齢者や節目高齢者への祝品等			
役務費	141	郵送料、筆耕料			
負担金補助及び交付金	20,749	各敬老事業主催者への活動補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	26,663	25,072	25,855	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		26,663	25,072	25,855	
予算財源内訳	① 一般財源	26,663	25,072	25,855	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 194	△ 61		
	② 配当予算	26,469	25,011		
	③ 執行額	25,998	24,959		
	④ 執行率	98.2%	99.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.41 / 0.20	0.37 / 0.20	/	/
	② 概算人件費	3,840	3,520		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		29,838	28,479		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	団体	―	3	1	1		
	敬老事業による世代間交流実施団体数	目標値		―	10	10	10	10	
		達成度	%	―	30%	10%	10%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	25	58	67	66		
	祝賀会実施件数	当初見込		102	102	102	102	102	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民の方に敬老意識の高揚を図るとともに敬老事業の対象者の方に敬老会へ参加していただけるように広報カード等により周知していく。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	敬老事業の運営費の一部を補助することで、地域の敬老事業が円滑に実施されている。また、長寿の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。 敬老会の準備等に負担がかかるため、敬老事業が未開催（記念品のみ送付）となる地域が増えてきていることが課題である。
現状の課題に対する改善策	対象事業を高齢者福祉に資する幅広い事業（敬老会開催事業、地域交流促進事業、健康づくり事業、敬老の日にちなんだ行事の開催）にすることで、主催者負担の軽減や敬老意識高揚を図っている。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	老人クラブ活動事業						事業コード	030103420209		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	112 頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市老人クラブ活動費補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域福祉の推進のため、老人クラブ連合会はスポーツ大会や相談事業、研修などの活動を行っている。 単位クラブにおいても、高齢者見守りや美化作業等の地域内活動や研修等の活動を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 役員のなり手がおらず、老人クラブの存続が難しいクラブなどがある。令和6年度の繰越より、繰越金が多額の単位クラブにおいては、補助を見合わせている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 各地域において活動している老人クラブの活動を支援し、円滑な事業実施を図る。地域の生きがいづくりや健康づくり、介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること （単位老人クラブ）生きがいづくりや健康づくりなどの活動を行っている各地域の老人クラブを支援するため補助金を交付する。 ・地域活動事業については、令和3年度より、単位クラブの補助金額を福知山市老人クラブ連合会加入・未加入を問わず30人以上：36,800円、29人以下：13,900円に統一、見守り活動の実施で最高2,000円を加算 ・視察研修事業については、老人クラブが実施する生きがいづくり、健康づくりのための視察、研修参加等を行う場合にバス借上げ料の1/2（上限50,000円）を補助 （市老連）高齢者相互支援推進啓発事業、地域福祉活動等を展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付 ・研修バス運行

対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	市内各老人クラブ、福知山市老人クラブ連合会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	24	福祉バス燃料代			
役務費	45	郵送料			
委託料	63	福祉バス運転代行			
使用料及び賃借料	27	福祉バス高速道路通行料、駐車場料金			
負担金補助及び交付金	10,313	市老連補助金、単位老人クラブ補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,687	11,422	11,004	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	5,687	11,422	11,004	
予算財源内訳	① 一般財源	2,669	7,184	7,195	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	3,018	4,238	3,809	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 907		
	② 配当予算	5,687	10,515		
	③ 執行額	4,897	10,471		
	④ 執行率	86.1%	99.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.33 / 0.20	0.48 / 0.20	/	/
	② 概算人件費	3,200	4,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,097	14,871		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	老人クラブ活動費	民生費府補助金	2,876	22	
	老人クラブ連合会活動事業	民生費府補助金	933	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	4,933	4,278	3,883	3,630		
	老人クラブ会員数	目標値		6,500	6,500	6,500	4,000	4,000	
		達成度	%	76%	66%	60%	91%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	7	17	15	12		
	普及啓発事業利用の出前講座	当初見込		20	20	20	20	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	単位老人クラブ及び市老連に対して、普及啓発事業の案内の周知を徹底する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	超高齢社会のもとでは、市内の各地域において生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動や老人クラブ連合会の役割は重要で、その活動を支援していくことは高齢者福祉の増進という観点において有意義であり、成果としては、地域福祉の推進に十分に寄与していると考えている。各クラブ会員の高齢化や会員数の減、クラブの休会、解散も多くなっていることから、老人クラブの継続が困難となっていることが課題である。
現状の課題に対する改善策	老人クラブの活動は、高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与していることから、今後も支援を行っていく必要があるため、老人クラブ連合会と連携を取りながら、支援等を行っていく。市の取組啓発については、老人クラブ連合会を通じて各単位老人クラブへ情報共有等を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	高齢者保健福祉計画推進事業						事業コード	030103420218		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	112・113 頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 社会情勢や今後の人口構造の変化への対策をより一層推進するため、本市の高齢者保健福祉の基本的な方針を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにする必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 高齢者対策協議会においては、委員へ市事業の進捗報告や意見聴取を行っているが、委員からの議題の提供や、委員の意見全てを事業や予算に反映することにまで至っていない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 3年間の高齢者保健福祉施策の基本的な指針となる本計画を策定することにより、中期的な視点から介護保険事業の規模（施設整備、在宅介護供給量）を設定し、それに応じた介護保険料額を決定するなど、介護保険の計画的推進を図る。また、社会情勢や今後の人口構造の変化への対策をより一層推進するため、本市の高齢者保健福祉の基本的な方針を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにし、進捗状況や今後の方向性等について確認する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 令和6年度～令和8年度を計画期間とする第10次福知山市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）に基づき、民生委員、老人クラブ連合会、自治会長、地区福祉推進協議会、社会福祉協議会の代表者等で構成する高齢者対策協議会を開催し、各施策や事業等の進捗状況の報告と今後の方向性等について審議する。 ・令和9年度～令和11年度を計画期間とする第11次福知山市高齢者保健福祉計画（第10期介護保険事業計画）策定に向け、必要に応じ高齢者対策協議会を開催し、計画案をとりまとめる。

対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱東京商工リサーチ福知山支店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	320	高齢者対策協議会委員報酬			
役務費	1,096	郵送料			
委託料	5,487	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	694	7,033	892	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	694	7,033	892	
予算財源内訳	① 一般財源	406	1,404	892	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	288	429	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	5,200	0	
決算情報	① 流充用額	△ 111	15		
	② 配当予算	583	7,048		
	③ 執行額	526	6,903		
	④ 執行率	90.2%	97.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.77 / 0.00	1.00 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	6,160	8,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,686	14,903		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	高齢者保健福祉計画推進事業基金繰入（地域福祉基金）	基金繰入金	5,934	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	15.8	15.8	31.8	36.4		
	計画の目標達成度	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	16%	16%	32%	36%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	5	2	3		
	高齢者対策協議会の回数	当初見込		3	5	2	3	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高齢者対策協議会を開催し、各施策や事業の進捗状況の報告と今後の方向性について審議する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市の高齢者施策についての情報共有、方向性検討の場として今後も会議を行っていく必要がある。高齢者福祉の推進にあたっては、行政だけでなく、多様な主体の参画が必要である。また、計画策定内容を遂行するために、計画に関連する各担当課が計画内容を把握した上で事業を進める必要がある。
現状の課題に対する改善策	市からの議題提供や報告だけでなく、委員からも提供していただけるような会議のあり方を検討する。計画に関連する各担当課へは、計画内容を把握して事業を進めてもらうために、定期的に進捗状況を確認する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	高齢者福祉一般管理事業							事業コード	030103420237		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消耗品費、郵送料等の一般事務費として必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 事務効率化やコスト削減を考えながら業務を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 円滑な事務の推進を図る。（各事業実施のための一般事務費）
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 消耗品費、郵送料等の一般事務費

対象者	—	対象者数	－	単位あたりコスト	—
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	105	消耗品費			
役務費	271	郵送料、電話料			

Ⅲ 予算執行状況

区　　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		984	472	457	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			984	472	457	
予算財源内訳	① 一般財源		967	455	440	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		17	17	17	
決算情報	① 流充用額		153	△ 75		
	② 配当予算		1,137	397		
	③ 執行額		991	376		
	④ 執行率		87.2%	94.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.08 / 0.00	0.07 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		640	560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,631	936		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	証明手数料	民生手数料	8	11	
	電柱類設置貸付収入（高齢者福祉課）	財産貸付収入	2	30	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	消耗品費・郵送料等の支払い								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	各種事務事業の円滑な推進、事業実施に必要である。（定性評価）
現状の課題に対する改善策	定期的に事務効率化やコスト削減に向けて見直しを行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域介護予防活動支援事業（重層的支援体制整備事業）							事業コード	030103420282		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	114	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	地域福祉計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	介護予防普及啓発事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業、重層的支援体制整備事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・一般介護予防事業の1つであり、要支援および要介護1といった軽度なレベルの介護認定者が増加している背景がある。 ・介護が必要とは思わないが気力や体力の衰えを感じている、今後も元気で暮らしたいと考えている高齢者に対して介護予防の視点も取り入れ、身近な場所で気軽に集える居場所づくりの推進が必要とされている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・地域のニーズや資源は地域ごとに違いが読み取りにくく、住民主体の介護予防の取組の普及が難しい場合がある。 ・介護支援サポーター活動はコロナ以降再開となっているが、受入の介護施設が増えない状況にある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開をめざして、住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくために、地域からの依頼に対し、住民から育成された体操指導者を派遣する出向き型事業を実施し、地域の介護予防活動の支援を行っている。 ・住民主体の通いの場を増やすために地域支援コーディネーターと密な情報共有含め連携をしている。 ・市民の介護予防に資するとともに、介護事業所の支援を行うために、介護支援サポーターを派遣し、活動の支援を行っている。

対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	1,257	講師謝礼			
需用費	87	消耗品			
役務費	34	郵送料			
負担金補助及び交付金	11	介護支援サポーター活動転換交付金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	1,241	2,769	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	1,241	2,769	
予算財源内訳	① 一般財源	0	155	347	
	② 国支出金	0	310	692	
	③ 府支出金	0	155	346	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	621	1,384	
決算情報	① 流充用額	0	148		
	② 配当予算	0	1,389		
	③ 執行額	0	1,389		
	④ 執行率		100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.02 / 0.05	0.15 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	300	1,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		300	2,589		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	重層的支援体制整備事業交付金（地域づくり事業分）	民生費国庫補助金	211	15	
	重層的支援体制整備事業交付金（地域づくり事業分）	民生費府補助金	98	23	
	介護保険特別会計繰入金（重層的支援体制整備事業）	他会計繰入金	694	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	5.7	5.7	5.6	5.7		
	65歳以上新規認定申請者割合	目標値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
		達成度	%	127%	127%	124%	127%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1,517	2,776	5,140	10,423		
	出向き型事業　延べ参加人数	当初見込		1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	出向き型事業の実施に向け、訪問場所や活動について体操指導員と調整。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	5.7	5.7	5.6	5.7		
	65歳以上新規認定申請者割合	目標値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
		達成度	%	127%	127%	124%	127%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	時間	1	82	112	114		
	介護支援サポーター活動時間	当初見込		500	500	500	500	500	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護事業所の支援を行うために、介護支援サポーターを派遣し、活動支援を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・新型コロナウイルス感染症の影響があった際は地域のサロン活動が止まっていたが、介護予防普及啓発事業とも連携して取組を進めることにより、令和7年度は多くの地域で活動が行われた。令和7年度から、地域で体操を始めたいがやり方が分からない等の悩みに対して市サポートを行う支援を開始したことから新たに出向き型事業の開始へつながった団体もあり、全体の増加へつながった。また、体操指導者については育成講座やフォローアップ講座を実施して、指導者の確保や育成を行った。引き続き、地域のニーズも吸い上げながら地域住民に寄り添った支援を行う必要がある。 ・介護支援サポーター活動については、新型コロナウイルス感染症の影響があってから、介護事業所での受け入れが少ない状況が続いている。（コロナ禍の間に活動できなかった）介護支援サポーターの登録者及び活動可能な方も減少している。年齢を重ね身体の状況変化に伴い活動が難しい人が増加しているため、受け入れ事業所や介護支援サポーター登録者を増やす仕組みづくりが必要がある。
現状の課題に対する改善策	・第10次高齢者保健福祉計画に基づき、事業進捗状況を分析しながら継続して実施する。 ・年間1～3回の体操では介護予防に効果がなく、継続して実施することが重要であることから、介護予防の取組が普及するよう引き続き地域へ働きかけを行うとともに、各地域包括支援センターや社会福祉協議会等と連携し、地域のニーズや資源を踏まえた上で、取組の実現に向けて寄り添った支援を行い、歩いて通えるような範囲に継続して介護予防体操ができる環境づくりを推進する。 ・介護支援サポーター活動を増加させるためには、介護事業所におけるサポーター受け入れ体制の整備と活動できるサポーターの増加が重要である。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	屋根雪おろし等費用助成事業							事業コード	030103420285		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	114	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	屋根雪おろし等費用助成金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 降雪により日常生活に支障をきたすが、高齢等のため除雪が困難な方がおられる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 降雪の季節が近づいたら広報等で周知を徹底し、対象者がもれなく申請できるようにすることが課題。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 自力で除雪をすることが困難な高齢者等に対し、雪おろし等に係る経済的支援を行うことによって、高齢者が安心して生活できる環境を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 居住する家屋の屋根及び避難路等の必要最低限度の除雪を自力ですることが困難な高齢者等が雪おろし等を行った際にかかった費用に対して補助金を交付する。

対象者	高齢者のみ世帯、母子世帯、障害者のみ世帯	対象者数	－	単位あたりコスト	—	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	個人					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	13	雪下ろし費用補助			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		0	0	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	13		
	② 配当予算		0	13		
	③ 執行額		0	13		
	④ 執行率			100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.02 / 0.05	0.00 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		300	0		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			300	13		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	2	1	0	1		
	補助金利用件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2	2		
	広報ふくちやま・民生委員への周知回数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま・民生委員への周知の徹底								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	適切な除雪作業の実施を支援することにより、高齢者等の被災を防ぎ、また、経済的な負担軽減を図ることができている。
現状の課題に対する改善策	広報やSNS等において、事業の周知に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福祉用具・住宅改修支援事業					事業コード	030202420588		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	02任意事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料	253	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国が定める介護給付適正化事業のひとつで、制度の適正な運用の観点からチェック体制の充実・強化が求められている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 福祉用具の購入・貸与、住宅改修に当たり、専門職からの助言等をもらうことは要介護者等の日常生活の便宜を図るうえで重要であるが、現状、利用者からの積極的な利用申請は多くない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 利用者やその家族のニーズ、及び個人の心身の状態に適した介護保険サービスを提供するため、福祉用具の購入・貸与、住宅改修の支給にあたり、専門職による助言等を行い、適正な給付を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・ケアマネジャーが担当する要介護認定者が介護保険の福祉用具購入、貸与及び住宅改修を利用するに当たり、専門職の助言を希望する場合、総合的な住環境整備の観点から理学療法士等が同行し助言等を行う。

対象者	在宅の要介護（要支援）認定者	対象者数	3,700	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福知山市民病院				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	17	住宅改修同行訪問に対する専門職派遣負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	204	102	102	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		204	102	102	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	79	39	45	
	③ 府支出金	39	20	20	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	86	43	37	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	204	102		
	③ 執行額	34	17		
	④ 執行率	16.7%	16.7%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	160	160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		194	177		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	現年度分	第1号被保険者介護保険料	1	243	
	現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	4	244	
	現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	2	244	
	介護給付費等繰入金	介護給付費繰入金	7	245	
	介護給付費準備基金	介護給付費準備基金繰入金	3	245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	2	1		
	同行訪問利用件数	当初見込		48	12	12	6	6	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	制度利用に当たっては、ケアマネジャーが窓口となることから、ケアマネジャーに対する制度の周知及び制度の積極的な活用の促進に向けた案内を発出している。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	国が推進していることを鑑みても本制度は介護給付適正化に有効であると言えるが、本市においては利用が少ないことが課題である。 利用申請がないため報酬も発生せず、執行率が低くなっている。
現状の課題に対する改善策	利用実績が少ない要因として、事業又は制度利用手順に周知不足が考えられるため、情報発信を今以上に積極定に行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	第1号被保険者保険料還付金						事業コード	060101420546		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広				
会計情報	款	06諸支出金	項	01償還金及び還付加算金	目	01第1号被保険者保険料還付金	会計	15 介護保険	決算附属資料	254 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 過誤納となった介護保険料（過年度分）の還付。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 死亡により過誤納となった場合には相続人の特定を行うが、すぐに特定できない場合は戸籍調査を行うため、多くの時間と手間を要している。近年は、相続放棄等によって、戸籍調査を行う件数が増加している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 介護保険法等に基づき、過誤納となった介護保険料を適切かつ円滑に払い戻す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・過誤納となった介護保険料（過年度分）の還付。

対象者	65歳以上の第1号被保険者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
償還金、利子及び割引料	1,915	介護保険料還付金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,276	2,241	2,241	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,276	2,241	2,241	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	2,241	2,241	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	2,276	2,241		
	③ 執行額	2,114	1,915		
	④ 執行率	92.9%	85.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	80	240		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,194	2,155		

主な利用特財 （R7年度実績値）	特財名称	介護給付費準備基金繰入金	種類	介護給付費準備基金繰入金	実績金額	1,915	決算附属資料	245 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	171	160	211	191		
	還付件数	当初見込		0	0	0	0	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・過誤納の発生に伴い、還付対象者に払い戻しの通知を発送する。 ・振込先口座を確認後、速やかに還付を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	基本的に還付すべき保険料は速やかに還付することを心掛けているが、戸籍調査は時間がかかるため、苦慮している。また、近年は、相続放棄等によって、戸籍調査を行う件数が増加している。
現状の課題に対する改善策	庁内連携による戸籍調査を行い、引き続き適正に還付事務を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護予防サービス計画作成事業					事業コード	020101420548		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611		
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課			所属長	塩見 康代			
会計情報	款	02事業費	項	01居宅介護支援事業費	目	01居宅介護支援事業費	会計	16 サービス	決算附属資料 256 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第9期福知山市介護保険事業計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法								
事業区分	☑ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）				
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険法制度の基本理念に基づく、「尊厳の維持」「自立支援」の中で、要介護状態になることをできるだけ防ぐこと、要支援（介護）になっても状態の改善・維持・悪化の遅延を図るため、地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントが重要になっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護予防ケアマネジメントは地域包括支援センターの業務の一つではあるが、地域包括支援センターの人員体制が十分とは言えず、その他の「総合相談業務」等の業務に追われ、十分な介護予防ケアマネジメントが行えていない現状がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内にある居宅介護支援事業所に要支援認定者の介護予防サービスの計画作成を委託することで、将来要介護状態へ進行した場合のシームレスなサービス利用を行うことを目的とし、介護予防ケアマネジメントに係る時間を軽減することで地域包括支援センターの総合相談への迅速な対応ができる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・支援が必要な要支援認定者に適切なサービス利用ができるよう、アセスメントを行ったうえで今後介護になる見通しが高い人にについては、要介護のケアプランを作成することができる居宅介護支援事業所と初動時から連携を行い要支援者のケアプランの作成を依頼する。 ・プラン作成に係るコストについては介護保険診療報酬に基づき、あらかじめ決められた単価を居宅介護支援事業所と長期継続契約を行い、毎月支払っている。

対象者	要支援認定者	対象者数	1,309	単位あたりコスト	23.0	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	（社福）社会福祉協議会 他26事業所					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	7,380	委託居宅介護支援事業所への支払い			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	10,181	9,737	8,942	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	10,181	9,737	8,942	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	10,181	9,737	8,942	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	10,181	9,737		
	③ 執行額	6,758	7,380		
	④ 執行率	66.4%	75.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.68 / 2.60	1.83 / 2.90	/	/
	② 概算人件費	20,720	22,760		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		27,478	30,140		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	地域包括支援センター運営事業繰入	介護予防サービス事業繰入金	7,380	255	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	23.6	27.9	23	25.3		
	委託率（委託件数/全件）	目標値		20	20	20	25	25	
		達成度	%	118%	140%	115%	101%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2,020	2,375	1,842	1,993		
	委託件数	当初見込		1,000	1,000	1,000	1,000	1,500	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護保険認定前から、居宅介護支援事業所と共に情報共有や初動を共に行い、スムーズなケース移行を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・サービス利用者にとって、介護区分により担当事業所・担当者が都度変わることは、新たな信頼関係の構築や書面上での手続きが発生する等の負担感を与える。利用者の利便性を考慮しても、認定前から居宅介護支援事業所と初動を共にする意義は大きいと考える。 ・委託件数は目標の数値を上回っている状況（R7年度も上回る予測）ではあるが、要支援認定者は増加傾向にあり、地域包括支援センターの業務負担が大きい（総合相談の対応のため、１件あたりに費やす時間を要することが多い）。
現状の課題に対する改善策	・地域包括支援センターのケアプラン作成の負担軽減のため、1件でも多くのプラン委託が受けてもらえるよう、居宅介護支援事業所との関係性構築に努める。すぐには委託件数の大きな増加は見込めないため、地域包括支援センターの職員体制を整えながら、事業運営を継続していく。 ・令和６年４月から介護保険改正により、居宅介護支援事業所が介護予防支援業務の指定を受けて業務を行うことができるようにっている（委託を受けなくても直接国保連へ請求事務を行うことができる）ことから、指定を受けることにより、従来の委託であればケアプランチェックを包括を行わなければならない業務も削減することにより、事務効率が向上することも期待される。（そのため、アウトプット評価の委託件数自体は今後減る可能性がある。）R8.3現在指定を受けている事業所は2カ所にとどまっている。今後、事業所指定を受けるメリットも伝えながら指定取得に向けての勧奨も保険者と共に行っていく必要があると考える。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者医療事業一般経費						事業コード	010101420601		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司				
会計情報	款	01総務費	項	01総務管理費	目	01一般管理費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	262 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に確保に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・後期高齢者医療保険加入者が各種制度を利用できるように、後期高齢者医療制度を適正に運営する。 ・後期高齢者医療保険に加入している被保険者数が京都府全体で増加傾向にあり、福知山市も年々増加傾向にある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 被保険者数が増加傾向にあるため、経費が増加する見込みである。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療保険加入者が安心して医療を受けられるように、後期高齢者医療制度を適正に運営し、各種制度を利用できるようにすることで、健康の保持増進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者の傷病や死亡に関して、後期高齢者医療制度の運営主体である京都府後期医療広域連合と連携し、市の事務である申請・届出受付等の事務を行った。 ①資格管理（資格確認書等の発行、新規加入・転入転出届の受付事務等） ②葬祭費・療養費・高額療養費等の受付事務 ③予算編成・決算関係事務 など ④上記業務に伴う広域連合との調整

対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	1.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社、株式会社ケーケーシー情報システム					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	302	PPC用紙、リサイクルトナー、封筒	旅費	7	研修旅費
役務費	8,466	資格確認書一斉更新用郵送料等			
委託料	3,966	システム改修、システム保守料			
使用料及び賃借料	969	電子複写機使用料、システム機器使用料			
備品購入費	76	プリンター			
負担金補助及び交付金	459	システム改修費用負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		11,187	16,528	11,249	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			11,187	16,528	11,249	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		11,187	16,528	11,249	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		11,187	16,528		
	③ 執行額		10,631	14,246		
	④ 執行率		95.0%	86.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.53 / 0.70	1.18 / 0.40	/	/
	② 概算人件費		14,200	10,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			24,831	24,806		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	職員給与費等繰入金	一般会計繰入金	7,992	260	
	広域連合事務経費補助金	雑入	3,496	261	
	子ども・子育て支援事業費補助金	雑入	2,707	261	
	デジタル基盤改革支援補助金	雑入	51	261	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	3	3	3		
	広報の回数	当初見込		2	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまにマイナ保険証、保険料の口座振替の勧奨等の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・後期高齢者医療事務を行うために必要な経費である。 ・被保険者数については、今後も増加する見込みである。 ・後期高齢者医療制度の周知については、被保険者へ配布する支援冊子やホームページ等により、引き続き周知に努める必要がある。
現状の課題に対する改善策	・今後も被保険者数が増加する見込みであり、経費も増加する見込みであるが、郵送物等はできるだけ同封するよう工夫をし、経費削減をはかる。 ・後期高齢者医療制度については、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等の掲載を行うなど十分な周知に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者医療保険料徴収事業							事業コード	010201420604		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司				
会計情報	款	01総務費	項	02徴収費	目	01徴収費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	262・263	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務 ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 後期高齢者医療制度の財源である後期高齢者医療保険料を確保し、事業運営を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 被保険者数が増加傾向にあるため、保険料の増額が見込まれる。適正公平な賦課・徴収により保険料を確保する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療制度の財源である後期高齢者医療保険料について適正公平な賦課・徴収により保険料を確保し、適切な事業運営を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者医療保険被保険者に対し、京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収を行った。 ・賦課決定通知発送 ・収納管理 ・督促状発送 ・納付相談

対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	1.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	354	PPC用紙、色上質紙、納付書、通知書送付用封筒			
役務費	2,653	郵送料、公金取扱手数料			
委託料	3,404	納付書封入封かん業務委託料、システム保守料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		6,314	7,574	7,734	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			6,314	7,574	7,734	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		6,314	7,574	7,734	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		6,314	7,574		
	③ 執行額		5,831	6,411		
	④ 執行率		92.4%	84.6%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.01 / 1.15	1.11 / 0.30	/	/
	② 概算人件費		11,300	9,720		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			17,131	16,131		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	督促手数料	督促手数料	99	260	
	職員給与費等繰入金	一般会計繰入金	6,300	260	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	99.7	99.6	99.8	99.8		
	現年度　収納率	目標値		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1,209	1,334	1,296	1,248		
	督促状の発送件数	当初見込		1,180	1,090	1,020	1,140	1,100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	保険料を納入されない被保険者を対象に納期限の翌月19日に督促状を発送。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	特別徴収（年金特徴）が主な納付方法であるため収納率は高い水準で推移している。 被保険者数が増加傾向にあるため、郵送料が増加しており、今後も増大する見込みである。
現状の課題に対する改善策	普通徴収の対象者に対しては、保険料決定通知書に同封する「口座振替のチラシ」や各種媒体（広報ふくちやま・ホームページ・LINE等）を利用して広報の回数を増やすなど、周知方法を検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者医療広域連合納付金						事業コード	020101420603		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司				
会計情報	款	02後期高齢者医療広域連合納付金	項	01後期高齢者医療広域連合納付金	目	01後期高齢者医療広域連合納付金	会計	19 後期高齢	決算附属資料	263 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・京都府後期高齢者医療広域連合が決定した納付金を納付することにより、後期高齢者医療制度を適切に運営する。 ・後期高齢者医療保険に加入している被保険者数が京都府全体で増加傾向にあり、福知山市も年々増加傾向にある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 後期高齢者人口の増加や医療費の増加により、本市負担分が増加する傾向にある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療制度を適切に運営するため、京都府後期高齢者医療広域連合が決定した納付金を納付することで、後期高齢者医療保険加入者が安心して医療にかかり、健康の保持増進が図れるようにする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 広域連合規約に基づき算出され、各市町村納付金として決定された金額を後期高齢者医療広域連合負担金（分賦金）として支払った。 ・市町村分賦金（共通経費） ・保険基盤安定負担金 ・療養給付費負担金 ・保険料負担金

対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	181.5	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 負担金支出 ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	2,434,864	広域連合への支払（市町村分賦金、保険基盤安定負担金、療養給付費負担金、保険料負担金）			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		2,426,221	2,480,685	2,546,416	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		2,426,221	2,480,685	2,546,416	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		2,426,221	2,480,685	2,546,416	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		2,426,221	2,480,685		
	③ 執行額		2,371,845	2,434,864		
	④ 執行率		97.8%	98.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		1,680	1,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			2,373,525	2,436,544		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
特別徴収保険料・現年度分	特別徴収保険料	716,878	260	
普通徴収保険料・現年度分	普通徴収保険料	358,711	260	
普通徴収保険料・滞納繰越分	普通徴収保険料	2,015	260	
広域連合経費繰入金	一般会計繰入金	27,420	260	
療養給付費繰入金	一般会計繰入金	954,732	260	
保険基盤安定繰入金	一般会計繰入金	315,017	260	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	31	31	31	31		
	負担金払込件数	当初見込		31	31	31	31	31	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	京都府後期高齢者医療広域連合が示した額（負担金）の払い込み事務を期日までに行った。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	京都府後期高齢者医療広域連合が示した額を適切に納付した。 なお、本事業については確定した療養給付費の定率負担分等を納付する事業であるが、療養給付費負担金については一般被保険者の療養給付費（医療費）に対する市町村の定率負担（1/12）であり、医療費の適正化、健康寿命の延伸等を他事業により図ることで、長期的に見れば負担金額の抑制につながることとなる。しかし、後期高齢者人口の増加や医療費の増加により、本市負担分が増加する傾向にある。
現状の課題に対する改善策	・京都府後期高齢者医療広域連合が示した納付金を適正に納付する。 ・後期高齢者健診や人間ドックについて、広報ふくちやまやホームページ等の媒体を活用して受診勧奨の記事を掲載し、疾病の早期発見、早期治療により重症化の防止を図るとともに、医療費の抑制を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者医療保健事業					事業コード	030101420605		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03保健事業費	項	01健康保持増進事業費	目	01健康診査費	会計	19 後期高齢	決算附属資料 263 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業 ）								
関連事業	後期高齢者人間ドック事業、お口のチェック事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 被保険者の疾病の早期発見、早期治療に資するため、後期高齢者健診（集団健診、個別健診）を実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 受診率が京都府後期高齢者医療広域連合の平均を下回っており、受診率の向上が課題である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療保険加入者に対して、疾病の早期発見、重症化予防を目的として後期高齢者健診を行うことにより、健康に対する自覚を高めるとともに健康の保持増進、QOL（生活の質）の維持・向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 医師会と業務委託契約を行い、市内の医療機関で健康診査を受診された受診費用及び健康医療課が実施する集団健診の費用を負担。 （自己負担金：無料） 【方法】集団検診：8～12月実施。地域公民館等を利用し実施する。 個別検診：5～12月実施。医療機関等で個別に実施する。支払いは京都府国民健康保険団体連合会を通じて行う。

対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	2.8	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	一般財団法人京都予防医学センター、一般社団法人福知山医師会、一般社団法人京都府医師会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	35,072	健康診査業務			
役務費	1,082	事務取扱手数料、郵送料			
需用費	207	ガソリン代、消耗品費			
使用料及び賃借料	55	タクシー利用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	35,855	39,068	42,229	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		35,855	39,068	42,229	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	35,855	39,068	42,229	
決算情報	① 流充用額	△387	△ 340		
	② 配当予算	35,468	38,728		
	③ 執行額	34,542	36,415		
	④ 執行率	97.4%	94.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.71 / 0.00	0.07 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,680	560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		40,222	36,975		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
職員給与費等繰入金	一般会計繰入金	18,339	260	
健康診査事業補助金	雑入	18,075	261	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	21.0	22.2	22.8	23.5		
	健診の受診率	目標値		22.5	22.5	22.5	24.8	24.8	
		達成度	%	93%	99%	101%	95%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	10	10	10		
	広報の回数	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者健診の受診勧奨の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・受診者数は増加しているが、被保険者数が増加していることもあり、受診率の向上につながっていない。後期高齢者医療広域連合の平均を下回っており、受診率の更なる向上が課題である。新規受診者の掘り起こしや効果的な受診勧奨により健診受診者数を増やすことが重要である。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を実施中のため、関連づけて効果的な事業実施が必要となってくる。
現状の課題に対する改善策	・対象が75歳以上（一部65歳以上）となっているため、受診勧奨効果は出やすいが、受診者の中で医療機関で管理中の被保険者も多く、定期的な医療機関受診の延長にとどまってしまい、本来の健診の目的である各種検査による「早期発見」「重症化予防」につながっていない場合もあり、個別受診勧奨の実施等、各種媒体を活用し広報に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	後期高齢者人間ドック事業							事業コード	030101420610	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03保健事業費	項	01健康保持増進事業費	目	01健康診査費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	263 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業 ）									
関連事業	後期高齢者医療保健事業、お口のチェック事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 被保険者の疾病及び悪性新生物の早期発見、重症化予防を目的に後期高齢者医療人間ドックを実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 京都府後期高齢者医療広域連合の補助金（1件あたりの基準単価6,000円）を財源に実施しており、広域連合の動向を見極めながら実施していく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 後期高齢者医療保険被保険者に対して、疾病及び悪性新生物の早期発見、重症化予防を目的として後期高齢者医療人間ドックを行うことにより、健康に対する自覚を高めるとともに健康の保持増進、QOL（生活の質）の維持・向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施機関】 医師会から指定を受けた医療機関（福知山市民病院・京都ルネス病院） 【検査内容】 基本的検診(問診・身体測定・理学的検査・血圧）尿検査・血液検査（脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸）・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査（胃透視か胃カメラ選択）・胸部レントゲン検査・便検査（便潜血2日法） 【自己負担額】 7,400円 【実施期間】 令和7年5月7日～令和8年3月31日

対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	15,587	人間ドック検査業務委託料			
役務費	229	受診勧奨広告料・郵送料			
需用費	2	PPC用紙			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		13,633	15,155	15,735	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		13,633	15,155	15,735	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		13,633	15,155	15,735	
決算情報	① 流充用額		1,266	760		
	② 配当予算		14,899	15,915		
	③ 執行額		14,894	15,818		
	④ 執行率		100.0%	99.4%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.31 / 0.25	0.46 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		3,180	3,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			18,074	19,498		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	後期高齢者人間ドック事業補助金	雑入	3,000	261	
	職員給与費等繰入金	一般会計繰入金	12,726	260	
	市町村との連携強化事業補助金	雑入	18	261	
	長寿・健康増進推進事業補助金	雑入	74	261	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	3.0	3.3	3.8	3.9		
	受診率	目標値		3.0	3.0	3.5	4.0	4.0	
		達成度	%	99%	109%	108%	98%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3	3		
	広報の回数	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者人間ドックの受診勧奨の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・令和7年度は府広域連合補助は、1件あたりの基準単価6,000円であった。令和8年度も同様である。当初と比べると減額となっており、府広域連合の動向を見極めていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	広域連合単独の補助金の動向や他市の状況を把握し、制度のあり方を検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	お口のチェック事業（高齢者歯科健診）							事業コード	030101420611		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03保健事業費	項	01健康保持増進事業費	目	01健康診査費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	263・264	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業 ）										
関連事業	後期高齢者医療保健事業、後期高齢者人間ドック事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 若年からの口腔ケアが、フレイル予防、健康寿命の延伸につながるため、福知山市国保被保険者（20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳）と合わせて歯科健診を実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 高齢者は薬や老化の影響により摂食や嚥下等の口腔機能が低下し誤嚥性肺炎や低栄養を起こしやすい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高齢者は薬や老化の影響により摂食や嚥下等の口腔機能が低下し誤嚥性肺炎や低栄養を起こしやすくなることから、早期に口腔内の異常を発見し口の健康を維持するために、後期高齢者医療保険加入者を対象に歯科健診を実施し、フレイル予防・健康寿命の延伸を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 京都府丹波歯科医師会に加入している本事業の研修を受けた歯科医院において下記の健診内容を実施。 ＜健診内容＞ ①口腔内検査（歯の状況、喪失歯の状況、義歯の状況、動揺歯の状況）を行ったうえで嚥下機能を評価。 ②検査の結果歯科評価を行い検査結果を本人に説明し判定区分にもとづき指導を行う。 自己負担額なし

対象者	75歳になる後期高齢者医療被保険者	対象者数	955	単位あたりコスト	4.3	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都府丹波歯科医師会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4	色上質紙			
役務費	169	郵送料			
委託料	662	歯科健診委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,775	1,412	1,387	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,775	1,412	1,387	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,775	1,412	1,387	
決算情報	① 流充用額		△ 879	△ 420		
	② 配当予算		896	992		
	③ 執行額		808	835		
	④ 執行率		90.2%	84.2%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.37 / 0.00	0.41 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,960	3,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			3,768	4,115		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	職員給与費等繰入金	一般会計繰入金	56	260	
	健康診査事業補助金	雑入	778	261	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	188	150	123	134		
	受診人数	目標値		150	200	200	200	200	
		達成度	%	125%	75%	62%	67%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	6	6	6		
	広報の回数	当初見込		5	5	6	6	6	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者歯科健診の受診勧奨の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度は受診券の送付対象を75歳の人とし、目標の受診者数は200人に設定したが、最終的には目標人数を下回った。令和8年度も引き続き丹波歯科医師会と連携しながら制度周知に努める。
現状の課題に対する改善策	・より多くの人に受診してもらえるよう、引き続き広報（広報ふくちやま、ホームページ、LINE等）を継続し、周知を図る。 ・丹波歯科医師会の協力歯科医療機関にポスター掲示を依頼し、制度の周知を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福祉医療給付事業（老）							事業コード	030103420247		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	老人医療助成事業費補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	重度心身健康管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 65歳以上70歳未満の高齢者（所得税非課税世帯）や心身に障害ある人が安心して医療機関等に受診することができるように医療機関等での窓口負担の一部を軽減するため実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 65歳以上70歳未満の高齢者（所得税非課税世帯）や心身に障害ある人の医療について、安心して医療機関等に受診できるようにするため、窓口一部負担金の一部を軽減する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 65歳以上70歳未満の高齢者（所得税非課税世帯）や心身に障害ある人の医療について、保険医療機関等での窓口一部負担金の一部を軽減することで、経済的な負担を軽減し、高齢者の健康の保持増進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福祉医療給付（老）及び重度心身健康管理事業の運営 ①福祉医療（老）及び重度心身健康管理事業対象者の資格管理（勧奨含む） ②療養費（医療費）の支払い　等 ※マル老・・・65歳以上70歳未満で所得税非課税世帯に該当する場合、窓口一部負担金の一部を軽減する制度（3割⇒2割） ※健管・・・65歳以上の後期高齢者被保険者で一定の障害がある場合、窓口一部負担金を全額助成する制度（所得制限等あり）

対象者	マル老及び健康管理事業対象者	対象者数	1,721	単位あたりコスト	10.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	229	PPC用紙、受給者証・限度額適用認定証等			
役務費	831	郵送料、審査支払手数料			
委託料	1,223	システム改修業務、改修保守業務			
扶助費	12,321	老人医療費現金給付、高額医療費現金給付等			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	18,114	17,172	15,123	0
	② 補正予算	0	232	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	18,114	17,404	15,123	
予算財源内訳	① 一般財源	6,346	6,768	5,685	
	② 国支出金	0	116	0	
	③ 府支出金	11,767	10,518	9,436	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1	2	2	
決算情報	① 流充用額	0	60		
	② 配当予算	18,114	17,464		
	③ 執行額	14,155	14,603		
	④ 執行率	78.1%	83.6%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.16 / 0.00	0.30 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	1,280	2,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		15,435	17,283		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	老人医療助成事業	民生費府補助金	8,464	22	
	老人医療助成事業施行事務費	民生費府補助金	260	22	
	地域診療情報連携推進費補助金	民生費国庫補助金	115	15	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	3	2	2		
	広報の回数	当初見込		1	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまに福祉医療制度の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・65歳以上70歳未満を対象としている制度であるが、65歳到達年度は非該当でも翌年度以降に所得減少により該当する人もあり、新たに対象となる人に対して広報誌で効果的に周知することが課題である。
現状の課題に対する改善策	・各種媒体（支援冊子・広報ふくちやま・ホームページ等）を利用し、効果的な制度の周知に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	重度心身健康管理事業							事業コード	030103420248		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	113	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	重度心身障害老人健康管理事業費補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	福祉医療給付事業（老）、福祉医療（障害）給付事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 心身に障害ある高齢者が安心して医療機関等に受診することができるように医療機関等での窓口負担の一部負担金を助成するため実施する。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害のある高齢者は、健常者と比較しても収入が安定しないなどの課題があるため、安心して医療機関等を受診できるようにするため、窓口負担の一部負担金を助成する必要がある。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） より疾病が重度化しやすい心身に障害のある高齢者に対して、健康管理に要する費用を助成することで、重症化を防ぎ、障害者福祉の向上を図る。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者医療被保険者のうち、身体障害者手帳1級から4級、療育手帳A及びB、精神障害者保健福祉手帳1級から3級を交付されている人について、医療機関等の窓口で支払う自己負担金額を健康管理に要する費用として助成した。府費事業分と市費単独事業（上乗せ分）がある。 〇75歳以上の人・・・身体障害者手帳1～4級（市制度：3～4級）、精神保健福祉手帳1～3級（市制度：2～3級）、療育手帳AB（市制度：B） 〇65歳以上75歳未満の後期高齢者医療保険の人 身体障害者手帳4級の一部（市制度：3～4級の一部）、精神保健福祉手帳1～2級（市制度2級）、療育手帳A

対象者	一定の障害がある65歳以上の後期高齢者医療被保険者（所得制限等あり）	対象者数	1,393	単位あたりコスト	80.4
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	1,153	審査支払手数料（国保連合会）			
扶助費	106,897	重度心身障害老人給付金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		129,235	115,319	110,391	0
	② 補正予算		△ 15,000	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		114,235	115,319	110,391	
予算財源内訳	① 一般財源		79,393	79,966	76,986	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		33,842	34,353	32,405	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,000	1,000	1,000	
決算情報	① 流充用額		0	△ 1,212		
	② 配当予算		114,235	114,107		
	③ 執行額		109,604	108,050		
	④ 執行率		95.9%	94.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.36 / 0.90	0.36 / 0.40	/	/
	② 概算人件費		5,400	4,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			115,004	112,050		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
重度心身障害老人健康管理事業	民生費府補助金	30,050	22	
介護合算医療費返還金	雑入	3,637	43	
高額療養費（外来年間合算）	雑入	933	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	3	2	2		
	広報の回数	当初見込		1	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまに重度心身障害老人健康管理事業制度の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・新たに障害者手帳の交付を受けられる方は、本事業の手続きに必要な手帳の交付を障害者福祉課で行うため、（心身に障害がある）高齢者にとっては移動が負担になる。
現状の課題に対する改善策	・（心身に障害がある）高齢者が手続きに来庁された際は、障害者福祉課と連携し、来庁者に負担が少ない窓口対応に努める。 ・府の制度拡充の広報について、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等に掲載を行うなど十分な周知に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業						事業コード	030103420615		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	114 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第2次福知山市健康増進計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、健康保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 京都府後期高齢者医療広域連合からの委託事業 ）									
関連事業	後期高齢者保健事業、特定健康診査事業、糖尿病重症化予防事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 75歳以上の高齢者に対する保健事業を、市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう高齢者の医療の確保に関する法律等の改正がされ、本市では令和3年4月から実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するといった心身の多様な不調をきたすため、きめ細やかな支援が必要である。 ・事業対象者について、主に後期高齢者健診の受診者から選定しているため、健診の受診率を維持または上げていく必要がある。 ・市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らせるよう、自ら健康づくり・介護予防に取り組めるよう啓発・支援していく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 心身の多様な不調をきたす高齢者に対して、介護予防と保健事業を一体的に実施し、きめ細やかな支援を行うことで、住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸、QOLの維持向上を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）】 ①低栄養、高血圧予防等の取組（健診結果より把握、面談実施） ②口腔機能低下ハイリスク者への支援 ③健康状態不明者の状態把握、健診受診勧奨（アンケート調査郵送、未返送者等に訪問実施） 【通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）】 ①フレイル予防の普及啓発、健康教育や健康相談の実施 （高齢者に対するフレイル予防、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援、健診や医療の受診勧奨、介護サービスの利用勧奨）

対象者	後期高齢者被保険者	対象者数	13,424	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	369	トナーカートリッジ、リーフレット			
役務費	47	郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		677	579	602	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			677	579	602	
予算財源内訳	① 一般財源		19	83	32	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		658	496	570	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		677	579		
	③ 執行額		646	416		
	④ 執行率		95.4%	71.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.79 / 0.00	0.17 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		6,320	1,360		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			6,966	1,776		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	後期高齢者医療広域連合保健事業委託金	雑入	407	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	76.4	67.2	75.8	71.6		
	個別支援後の生活改善率	目標値		80.0	80.0	80.0	90.0	100	
		達成度	%	96%	84%	95%	80%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	34	61	66	79		
	個別支援実施者数	当初見込		40	45	50	55	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・後期高齢者健診の受診勧奨啓発　・健診結果返し時、対象者への丁寧な面談と事後フォロー確認 ・高齢者の通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ・普及啓発）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・口腔機能ハイリスク者の取組みを令和5年度から開始し、歯科医師会から口腔機能測定器を活用して効果的な指導に繋げるよう助言をもらっていたが、対象者の受入れの問題で活用に至らなかった。歯科医師会に実施結果について報告すると共に再度助言をいただく予定だが、ポピュレーションアプローチも含めて、積極的な活用を検討する。 ・ハイリスクアプローチは、対象者抽出基準が市オリジナルのものも含めて個別支援を重視して改善に繋げているが、広域連合より対象者の抽出基準を見直すよう指摘があるため、実施方法の検討が必要である。 ・ポピュレーションアプローチは、市が実施する集約型事業と、サロンや老人会からの依頼による普及啓発事業において、保健師、栄養士、歯科衛生士がフレイル予防の講話を実施した。また、令和7年度より質問票を活用した状態把握に力を入れ、高齢者が自ら健康状態に関心を持てるよう働きかけを行った。機会あるごとに啓発をするとより効果的であるため、更に無関心層に働きかけていくことが必要である。
現状の課題に対する改善策	・従来の取組みに加えて、気軽に相談できる環境づくりとして、人権ふれあいセンターにおける健康相談の場でも口腔機能測定器を活用した啓発を行う。 ・ハイリスクアプローチの対象者抽出基準を国基準に合わせ、特に低栄養と高血圧予防は実施方法を見直すが、なるべく対面での個別支援に繋げていく。 ・ポピュレーションアプローチは、市が実施する集約型事業を縮小し、地域からの依頼による出向き型事業に力を入れていくため、出向き型事業の場を活用した啓発を行っていく。 ・健康状態不明者、口腔機能ハイリスク者の状況把握は、フレイル予防啓発と同時に健診の受診啓発も行っているため、健診実施期間中に実施できるよう早めの計画を立て、健診受診率向上に繋げる。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国民年金事務事業							事業コード	030105450276		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	05国民年金事務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	118	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民年金法ほか										
事業区分	☑ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☑ その他	（ 協力・連携事務 ）					
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民年金に係る法定受託事務と国との協力・連携事務を実施し、国民年金制度の安定した運営に寄与する。 国民年金第1号被保険者数は減少傾向にある。（第1号被保険者数：令和7年3月末 6,254人 令和8年3月末6,235人）
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民の国民年金制度への理解を深めていただき、制度未加入や保険料の未納を防ぐため、日本年金機構と協力・連携をとりながら加入者数、納付率の向上を目指す。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 国民年金制度において、加入期間不足等により高齢者の主たる収入である老齢年金を受給できない人を減らし、安定した年金収入により高齢者が安定し暮らせることを目指す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・離職や扶養が非該当となった市民に適切に窓口対応をし、加入の案内を行う。 ・国民年金保険料の納付が困難な市民へは、リーフレット等により保険料の免除制度を説明すると同時に、保険料の追納の案内も行う。 ・国民年金制度の周知のために、広報ふくちやまに毎月年金の関連記事を掲載する。 ・日本年金機構からの制度への未加入者、保険料の未納者について情報照会の依頼があった場合は、積極的に回答し、納付率の向上を図る。 ・老齢、遺族、障害年金の請求相談が市民からあった際は、法定受託事務以外についても日本年金機構と連携し、相談者の年金受給につなげる。

対象者	国民年金第1号被保険者（任意加入を含む）	対象者数	6,235	単位あたりコスト	3.4	
実施方法	☑ 直接実施	☐ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他	（ ）
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	371	PPC用紙、プリンタートナー、事務用品、書籍			
役務費	79	電話料、郵送料			
使用料及び賃借料	167	コピー機賃借料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		728	621	1,990	0
	② 補正予算		0	0	1,362	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			728	621	3,352	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		728	621	3,352	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		728	621		
	③ 執行額		634	618		
	④ 執行率		87.1%	99.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		2.31 / 1.00	2.21 / 1.00	/	/
	② 概算人件費		21,280	20,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			21,914	21,098		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	基礎年金等事務費	民生費国庫委託金	618	20	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	100	82.0	82.4	82.8	83.5		
	国民年金保険料の納付率の向上	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	82%	82%	83%	84%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	12	12	12	12		
	広報ふくちやまへの国民年金記事掲載月数	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまに、国民年金保険料（金額）・お得な納付方法・追納等の国民年金記事を掲載することにより、市民が国民年金に関心が持てるようにする。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	福知山市における国民年金保険料（現年度分：令和7年度分）の納付率は83.5 %（全国平均79.6%）。これは、これまでの啓発活動や関係機関との連携強化等の取組による成果といえる。一方で、依然として目標値には達しておらず、引き続き取り組みが必要。
現状の課題に対する改善策	少しでも国民年金保険料の納付率を上げるために、①生活保護担当課と連携して生活扶助決定者に法定免除の案内を行う。 ②日本年金機構との協力・連携により未納者、未加入者の増加を防ぐなどの対応策をとる。